

令和6年度
八幡平市メディテックバレーシンポジウム



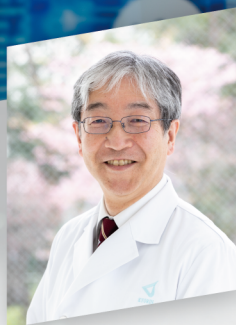
コンソーシアム会長 兼
八幡平市長
佐々木 孝弘氏



八幡平市立病院統括院長
全国自治体病院協議会 会長
望月 泉氏



元ソニー技術者
日高 幸徳氏



杏林大学 医学部 教授
地域総合研究所 所長
長島 文夫氏

プログラム

13:30～13:35 開会あいさつ

13:35～13:45 会長あいさつ 佐々木 孝弘

13:45～14:15 「過疎地の医療をDXで救う」 講師:望月 泉氏

過疎地の医療課題をどのようにデジタル技術で解決するか、遠隔診療やデジタル化された診療プロセスなど、地域医療DXの現状と未来について講演します。

14:15～14:45 「IoT通信と未来の医療技術」 講師:日高 幸徳氏

LPWA通信 (ELTRES) を用いた遠隔モニタリングと通信技術の可能性、アプリを通じた血圧測定技術とその実用性について解説します。

14:45～14:55 休憩

14:55～15:25 「都市部におけるDXの必要性」 講師:長島文夫氏

都市部の医療現場におけるDXの必要性について語り、効率的な医療サービス提供のためにDXがどのように活用されるかを解説します。

2024 11.16 Sat 13:30
15:30

会場 ▶ 八幡平市西根地区市民センター

〒028-7112 岩手県八幡平市田頭第39地割80-1

参加無料【要事前申込】

事前申込はコチラ →



詳しくはコチラ



DXの役割

地域医療と都市医療における

このシンポジウムでは、地域医療と都市医療におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の役割について、3人の専門家が講演を行います。Golden Field社のアプリ「Hachi」やLPWA技術を活用した血圧測定技術を中心に、医療DXの現場での実践的な利用方法を紹介します。